

せつめい文の 正しい説明をえらぼう

小2／文章を よんで、内ように あう 説明を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 じしゃくの ふしぎを よんで、正しい説明を1つえらびましょう。

じしゃくは てつを 引きつけます。でも どうや アルミは 引きつけません。じしゃくには N きょくと S きょくがあり、ちがう きょくどうしは くっつきます。

- 1 じしゃくは てつを 引きつける。
- 2 じしゃくは どんな 金ぞくも 引きつける。
- 3 同じ きょくどうしが くっつく。
- 4 じしゃくに きょくは ない。

2 き節と こん虫を よんで、正しい説明を1つえらびましょう。

こん虫は さむく になると すがたを かくします。たまごや さなぎで 冬を こす ものが 多く、あたたかく になると また 出てきます。

- 1 こん虫は 冬を たまごや さなぎで こす。
- 2 こん虫は 冬に いちばん 元気に とぶ。
- 3 こん虫は 一年中 すがたが かわらない。
- 4 あたたかく になると こん虫は いなくなる。

3 たねから 実へを よんで、正しい説明を1つえらびましょう。

花が さいて、虫が 花ふんを はこぶと、実が できて たねが できます。たねは つぎの 年、また 芽を 出して 花を さかせます。

- 1 花→実→たね→また 花と つながる。
- 2 花は 実に ならない。
- 3 たねは 二どと 芽を 出さない。
- 4 虫は 花と かんけい ない。

4 たねの め生えを よんで、正しい説明を1つえらびましょう。

たねが めを 出すには、水・空気・てきとうな あたたかさが ひつようです。日光は めを 出した あとで、そだつ ために 使われます。

- 1 たねの め生えには 水・空気・あたたかさが いる。
- 2 たねは 水が なくても めを 出す。
- 3 め生えに 空気は いらない。
- 4 たねは あたためると こおる。

せつめい文の 正しい説明をえらぼう【こたえ】

小2／文章を よんで、内ように あう 説明を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

答えと、たしかめるところ

1 答え：1

『てつを引きつける』が要点。どうやアルミはつきません。

2 答え：1

『たまごやさなぎで冬をこす』が本文の内ようです。

3 答え：1

花→実→たね→花のつながりが要点です。

4 答え：1

『水・空気・あたたかさが必要』が要点です。

読み取るコツ

だいじな 一文（まとめの 文）を さがし、言いかえの 説明を えらびます。